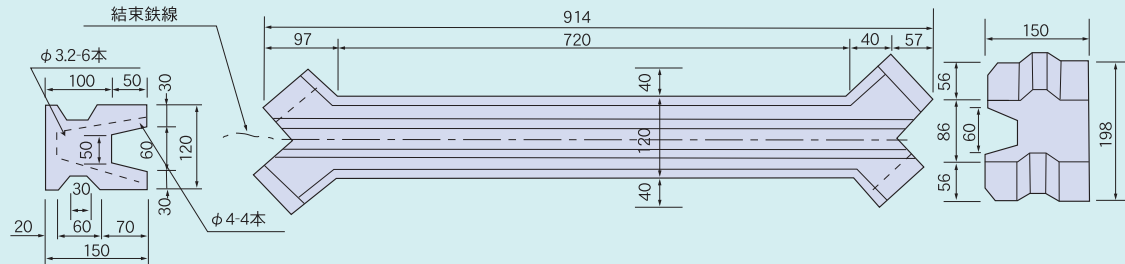
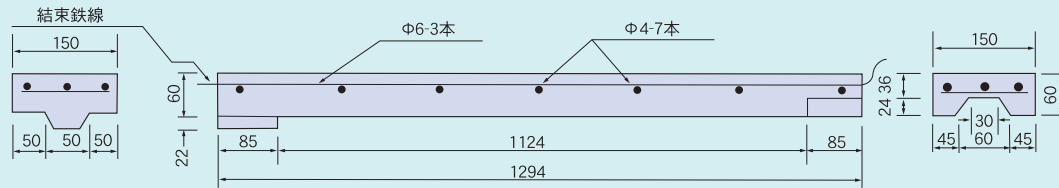


格子法枠

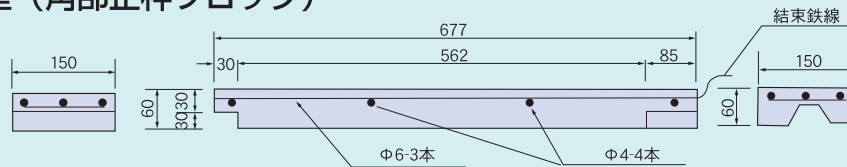
●A型 (並ブロック)



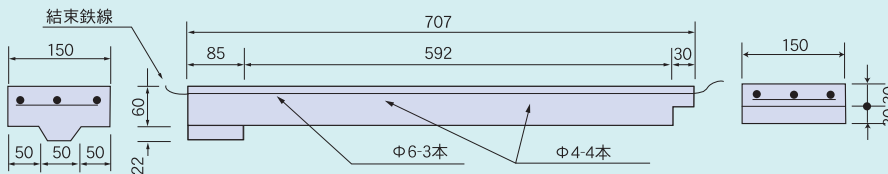
●B型 (止枠ブロック)



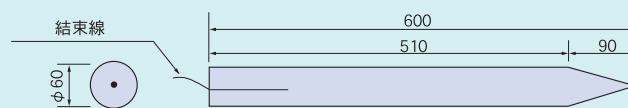
●C型 (角部止枠ブロック)



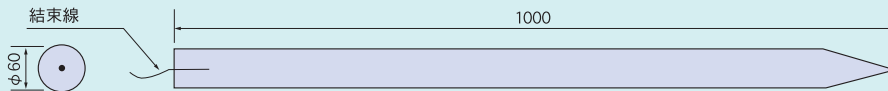
●D型 (角部止枠ブロック)



●止杭 ℓ=600 (プラストロン杭)



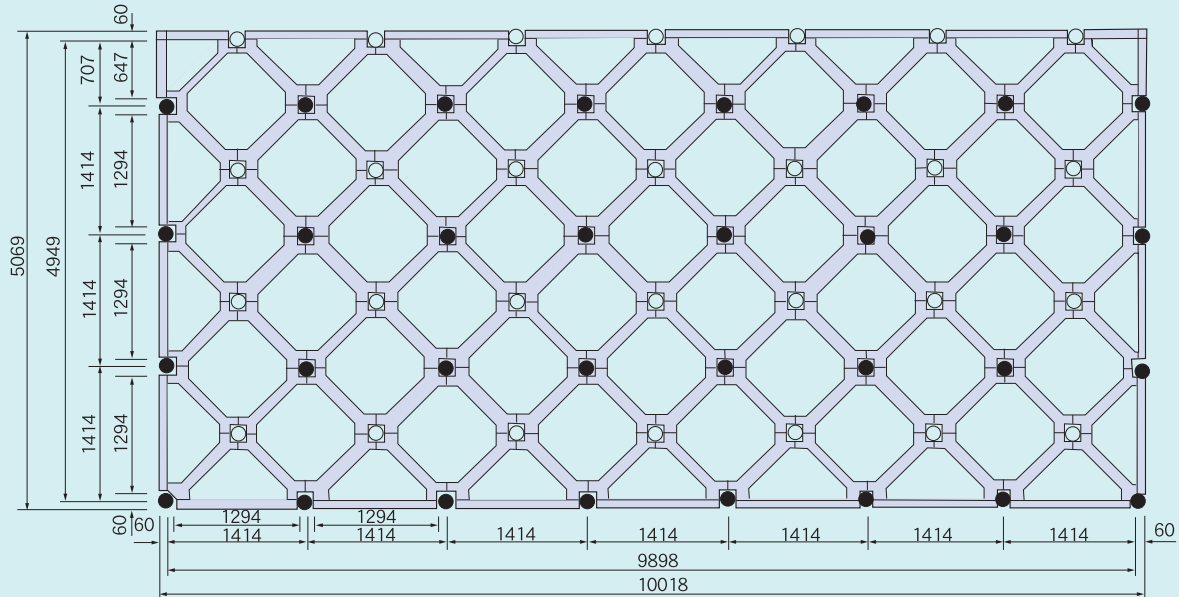
ℓ=1,000 (プラストロン杭)



名称	寸法 (mm)			鉄筋 (mm)				参考重量 (kg)	備考
	長	幅	高	主鉄筋		配力筋			
				径	本	径	本		
A型(並ブロック)	920	120	150	4	4	3.2	6	30.5	全製品供 結束用 ナマシ鉄線付
B型(止枠ブロック)	1,294	60	150	6	3	4	4	30.2	
C型(角部止枠ブロック)	677	60	150	6	3	4	4	14.4	
D型(角部止枠ブロック)	707	60	150	6	3	4	4	15.5	
止杭 プラストロン杭	600	φ 60mm						1.4	
	1,000							2.3	

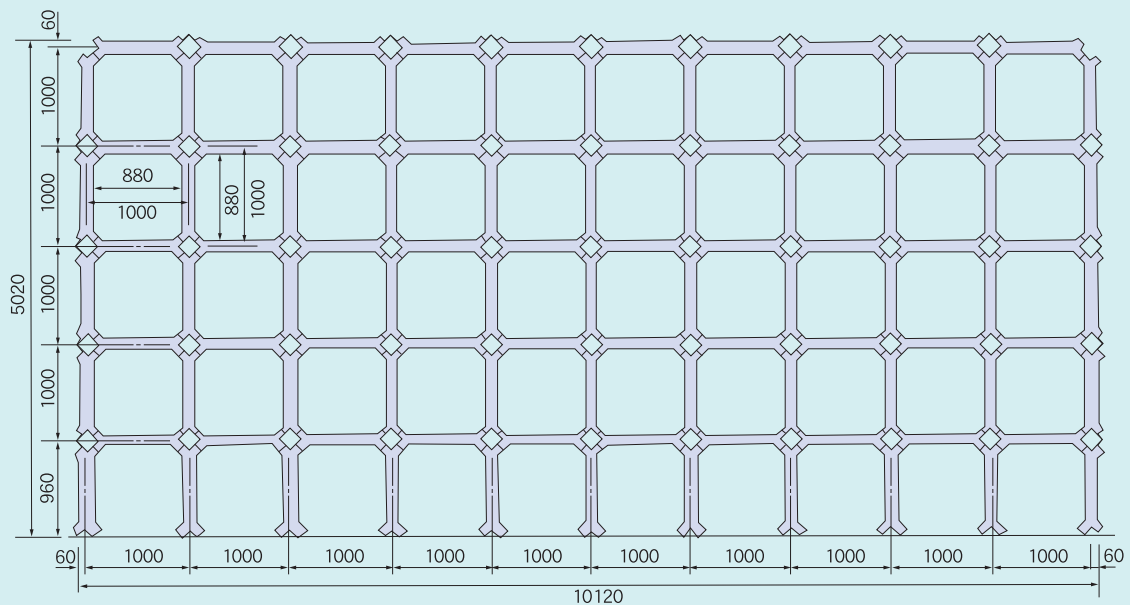
施工図

●谷積



- ① A型(並ブロック) $7 \times 14 = 98$ 本, $4,949 \times 9,898 = 48,985.202 \text{ m}^2$
 $98 \div 48,985,202 = 2.0006 \dots$ 即ち 2本/㎡
 A型(並ブロック)は1.0㎡に2本を必要とする。
- ② B型(止枠ブロック)は設計により個数が異なり、また施工展開図によっても個数が異なる。
- ③ C型、D型(角部止枠ブロック)は奇数段施工の場合のみ必要
 偶数段施工の場合は不必要。
- ④ 間詰面積(A) = 0.74 m^2 /法枠工施工/㎡当り
- ⑤ 部材(A型)交点の充填コンクリート量は $0.12 \times 0.12 \times 0.1 = 0.00144 \text{ m}^3$ /1ヵ所当り、または止杭施工箇所は $0.00144 - (0.03^2 \times 3.14 \times 0.1) = 0.00116 \text{ m}^3$ /1ヵ所当り
- ⑥ 止杭の標準の使用量は6本/10㎡(上図参照)であるが、設計により施工する。
- ⑦ ●印のヶ所は標準の場合の止杭使用箇所を示す。
- ⑧ 最下端の止枠を使用した場合、組立が容易である。

●布積



上図による計算例

面積 $5.02 \times 10.12 = 50.8 \text{ m}^2$

Aブロック $11 \times 5 + 5 \times 10 = 105$ 本

1.0㎡当り本数 $105.0 \div 50.8 = 2.06 \text{ 本/㎡}$

③注最下端に止枠を使用する場合、組立が容易であるがAブロック数が10本増加する

法枠ブロックの所要数計算式

施工延長…L m

施行法長…h m

$(Lm + 1.0) \times hm + Lm \times hm = \text{所要数}$

A表

名 称		単 位	数 量	摘 要
法 枠	A型ブロック	本	20	設計による
止 枠	B型ブロック	"		
角 止 枠	C型ブロック	"		
角 止 枠	D型ブロック	"		
止 杭	プラストロン杭	"		標準は6本/10㎡当りであるが設計による
諸 雑 費		%	1	充填コンクリート(モルタル)の材料設等の費用であり労務費の合計額に左記の率を乗じた金額を上限とする。
施 工	世 話 役	人	0.24	
	ブ ロ ッ ク 工	"	0.7	
	普 通 作 業 員	"	1.06	

1表/間詰張芝工

10㎡当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
張 芝	㎡	7.6		
目 串	長さ18cm	束	1.85	1㎡0.25束 7.6 × 0.25
真 土		㎡	0.76	7.6 × 0.1
土 砂	流用土	"	0.37	7.6 × 0.05
世 話 役		人	0.056	$(0.76+0.37) \times \frac{5}{100}$
特殊作業員		"	0.04	$(0.76+0.37) \times \frac{3.6}{100}$
普通作業員		"	0.441	$(0.76+0.37) \times \frac{39.7}{100}$

(備考)真土および土砂の施工手間は別途計上する。

3表/間詰栗石張工

10㎡当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
割 栗 石	φ15cm 内外	㎡	1.11	0.15 × 7.6
透水防止板		㎡	10.0	
世 話 役		人	0.09	$(0.76+0.37) \times \frac{8}{100}$
普通作業員		"	0.74	$(0.76+0.37) \times \frac{67}{100}$

2表/間詰コンクリート張工

10㎡当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コンクリート	σck16N/mm ²	㎡	0.76	厚10cm0.1×7.6
世 話 役		人	0.052	0.76 × 0.07
特殊作業員		"	0.16	0.76 × 0.21
普通作業員		"	0.16	0.76 × 0.21
諸 雑 費		%	0.26	

(備考)

①止杭を施工する場合には止杭代と止杭打込手間(ℓ=0.6m…0.03人/本、ℓ=1.0m…0.05人/本)を別途計上する。

②止枠は施工展開図により数量が異なるので、止枠代は別途計上する。

③本歩掛は法枠設置の歩掛で間詰工事は下記のよる。

イ)間詰張芝工……………A表+1表

ロ)間詰コンクリート張工……………A表+2表

ハ)間詰栗石張工……………A表+3表

④本歩掛は20m程度の小運搬が含まれている。